

ZQ MERINO 柔らかさ

柔らかさとは？



柔らかさは着心地の重要な要因ですが、簡単には計測できません。「気持ちいい」、「好ましい」と感じる触覚が「着心地が良い」という感覚をもたらし、その感覚が「滑らか」、「柔軟」、「ソフト」といった言葉で表現されます。つまり、柔らかさとは、満足感を与える1つの要素です。

人がどう感じるかは、その人の幸福感やその人の振る舞いを決定づける要因になることがあります。そして、柔らかさは衣類の着心地の良さを決める重要な要素です。もし、肌に接している衣服がゴワゴワ、ザラザラしていたら、着心地は悪くなり、それに応じてその人の幸福感や振る舞いにも影響を与えます。

解決策

ウール繊維は、さまざまな織度(太さ)のものがあります。たとえ1頭のヒツジからとったフリースでも、その繊維の太さにはばらつきがあります。つまり、肌に直接触れてもさわり心地がよく柔らかなのは、細いファインウールだけなのです。肌に直接触れる衣服に使用されるZQメリノの繊維は、ウルトラファインあるいはスーパーファインといわれる17~19ミクロンの織度です(1ミクロンは1メートルの100万分の1)。



仕組み

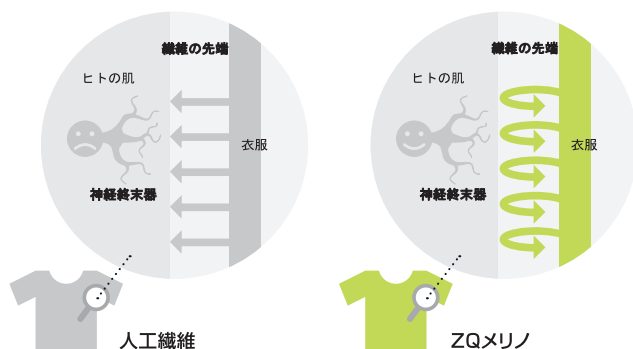
チクチクするのは？



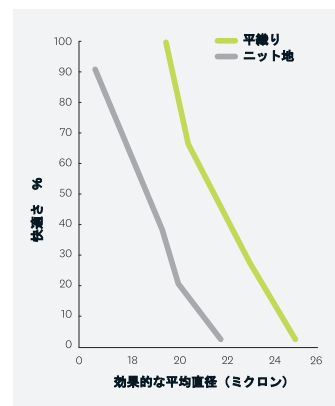
人の肌は体の中で最も大きな器官です。しかも、そのほとんどは衣服に直接触れます。「チクチク」と表現される不快な感じは、ウールが原因で生じると言われていますが、それは事実ではありません。

生地チクチク感が直接関係しているのは、繊維の種類にかかわらず、その繊維の太さ(直径)なのです。

柔軟性比較 人工繊維 vs ZQメリノ



オーストラリア連邦科学産業研究機構(CSIRO)のテキスタイル産業部門とモナシュ大学生理学部で実施された研究では、チクチクは繊維の太さとしなやかさの欠如に原因があり、繊維のタイプに起因するものではないことが分かりました。



ZQメリノ繊維はとても細いので、衣類に加工されて直接肌に触れるとスツツとたわみます。つまり、チクチク感が全くなく、柔らかな着心地の良さだけが残ります。

詳細な研究によると、タイプは違うものの太さが同じ繊維を使ったウェアは、ほとんど同じような着心地を与えることが分かりました。

繊維の「チクチク感」を左右する別の重要な要素は(繊維の太さ以外)、生地の構造です。ニット地には、同じ太さの繊維を使った織物よりも遥かに着心地の良い要素が含まれていることが分かっています。



肌に直接触れるアイテムにZQメリノを選ぶと、極上の柔らかさと着心地の良さを感じられます。一度でもZQメリノを知ると、もう他のものでは満足できないでしょう。